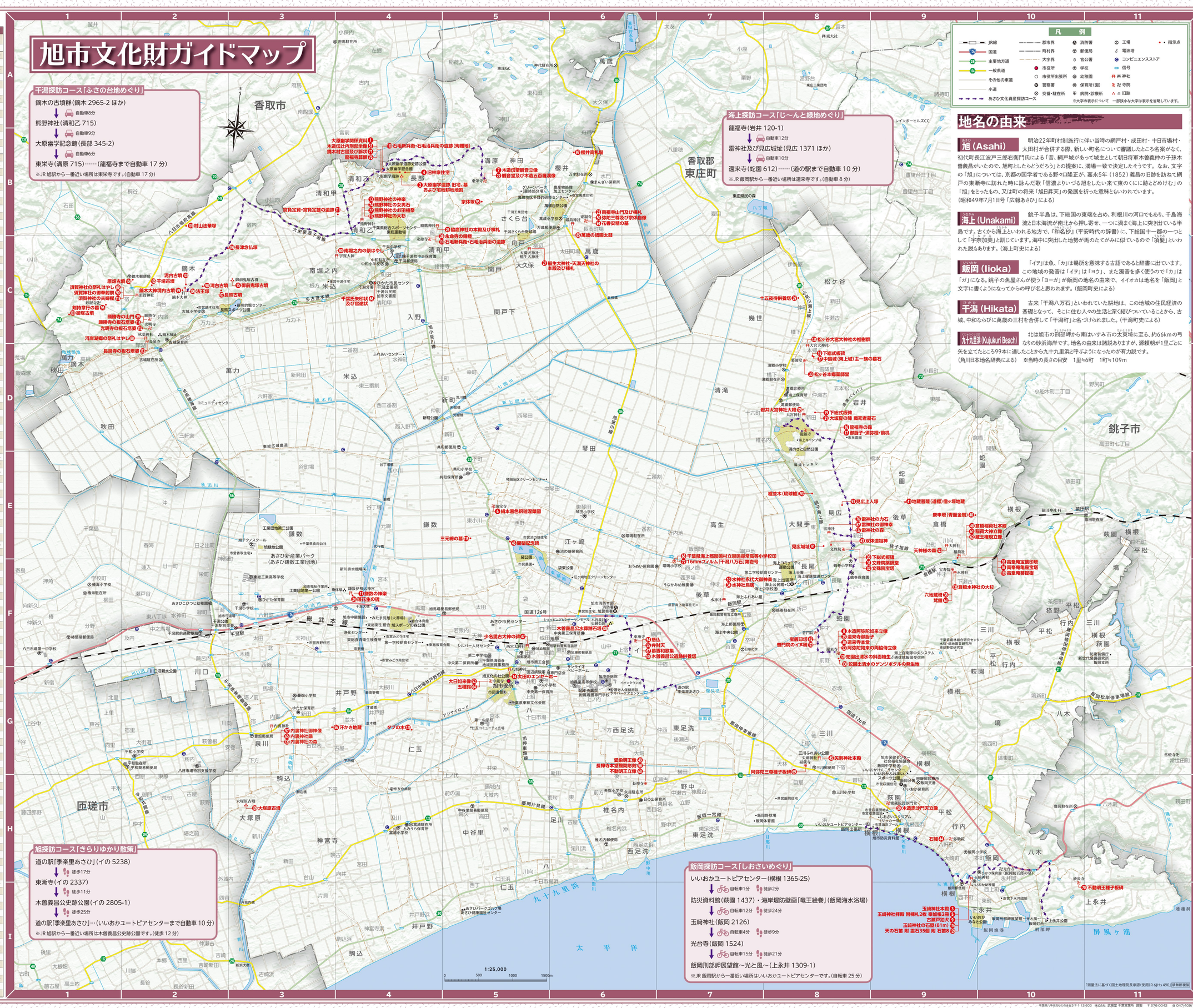
旭市文化財ガイドマップ

文化財一覧表

区分	番号	区分	種類	指定年月	名称	所在地・指定地・伝承地	地域名	索引
国指定	1	有形	歴史資料(重要文化財)	H3.6.21	大原幽学関係資料	長部345-2 大原幽学記念館	干潟	B-4
〃	2	記念物	史跡	S27.10.11	大原幽学遺跡 印旛、香取および宅地耕地地割	長部 312ほか	干潟	B-4
〃	3	有形	建造物	S48.3.2	玉神神社本殿	飯岡 2126 玉神神社	飯岡	H-9
〃	4	〃	〃	S54.3.2	旧林家住宅	長部 339-1	干潟	B-4
〃	5	〃	〃	H17.3.29	玉神神社拝殿 附棟札2枚 車加帳2枚	飯岡 2126 玉神神社	飯岡	H-9
〃	6	〃	絵画	H11.3.30	絹本著色釈迦涅槃図	等田 3521 海宝寺	海上	E-5
〃	7	〃	彫刻	S41.5.20	木造伝聖観音立像	清原 715 東栄寺	干潟	B-5
〃	8	〃	〃	H12.2.25	木造阿弥陀如来立像	蛇園 612 還来寺	海上	F-8
〃	9	〃	工芸品	H2.3.16	古瀬戸短大	飯岡 2126 玉神神社	飯岡	H-9
〃	10	民俗	無形民俗文化財	S29.3.31	水神社永代大師神楽	後草 1923 水神社	海上	F-7
〃	11	〃	〃	S40.4.27	鎌数の神楽	鎌数 4314 鎌数伊勢大神宮	旭	F-4
〃	12	〃	〃	S42.3.7	倉橋の弥勒三番叟	倉橋	海上	—
〃	13	〃	〃	S55.2.22	熊野神社の神楽	清和乙 715 熊野神社	干潟	B-4
〃	14	〃	〃	H20.3.18	太田のエンザーホー	二の 2089 八反神社	旭	G-5
〃	15	記念物	史跡	S50.3.28	御前鬼塚古墳	鎌木 3368ほか	干潟	C-3
〃	16	〃	天然記念物	S54.3.2	龍福寺の森	岩井 120-1ほか	海上	D-8
県指定	17	有形	建造物	S46.10.1	御影子・須弥壇・前机	岩井 120 龍福寺	海上	D-8
〃	18	〃	〃	S46.10.1	下総式板碑	石ヶ谷22ヶ島他 石ヶ谷東国33基ほか	海上	D-8
〃	19	〃	〃	S46.10.1	下総式板碑	岩井 736 岩井南墓地	海上	D-8
〃	20	〃	〃	S46.10.1	下総式板碑	見広 1423 文珠院	海上	E-8
〃	21	〃	〃	S46.10.1	大坂夏の陣 戦死者墓石	岩井 736 岩井南墓地	海上	D-8
〃	22	〃	〃	S47.4.26	観音堂及び木造五百羅漢像	清原 715 東栄寺	干潟	B-5
〃	23	〃	〃	S47.4.26	東福寺山門及び楼礼	萬歳 691 東福寺	干潟	B-6
〃	24	〃	〃	S52.1.25	落花生の碑	鎌数 4314 鎌数伊勢大神宮	旭	F-4
〃	25	〃	〃	S53.4.1	還来寺の御影子	蛇園 612 還来寺	海上	F-8
〃	26	〃	〃	S53.4.18	脇鷹神社の本殿及び棟札	清和乙 904 脇鷹神社	干潟	B-4
〃	27	〃	〃	S53.4.18	稲王大神社・天満天神社の本殿及び棟札	萬歳 2764 稲王大神社・天満天神社	干潟	C-5
〃	28	〃	〃	S53.4.18	永命寺の鐘楼	清和甲 727 永命寺	干潟	C-2
〃	29	〃	〃	S53.4.18	鵜勝寺の山門	鎌木 1902 鵜勝寺	干潟	C-2
〃	30	〃	〃	S55.7.1	還来寺本堂	蛇園 612 還来寺	海上	F-8
〃	31	〃	〃	S55.7.1	文殊院薬師堂	見広 1423 文珠院	海上	E-8
〃	32	〃	〃	S55.7.1	文殊院宝塔	見広 1423 文珠院	海上	E-8
〃	33	〃	〃	S55.7.1	松ヶ谷本郷薬師堂	松ヶ谷 2138-2	海上	D-8
〃	34	〃	〃	S55.7.1	水神社鳥居	後草 1923 水神社	海上	F-7
〃	35	〃	〃	S55.7.1	高峯廟宝篋印塔	倉橋 2384 高峯廟跡	海上	E-9
〃	36	〃	〃	S55.7.1	高峯廟亀座宝塔	倉橋 2384 高峯廟跡	海上	E-9
〃	37	〃	〃	S56.4.10	中島城(海上城)主一族の墓石	松ヶ谷 2117 松ヶ谷東福院跡墓地	海上	D-8
〃	38	〃	〃	S56.4.10	六地蔵塔	倉橋 1113 宝寿院	海上	F-9
〃	39	〃	〃	S57.6.11	十五夜待供養塔	横笛 489 延命庵	海上	C-8
〃	40	〃	〃	H1.5.23	神中塔(青面金剛)	倉橋 3053	海上	E-9
〃	41	〃	〃	H1.5.23	地蔵菩薩(道標)僧ヶ塚地蔵	倉橋 4296	海上	E-9
〃	42	〃	〃	H1.5.23	宝筐印塔	蛇園 3604-1 普門院	海上	F-8
〃	43	〃	〃	H1.5.23	双体道祖神	見広 588 地先 見広旧坂	海上	E-8
〃	44	〃	〃	H5.3.17	石幢	行内 704 弥勒院墓地	飯岡	H-9
〃	45	〃	〃	H13.4.12	矢剥神社本殿	三川 3719-1 矢剥神社	飯岡	G-8
〃	46	〃	〃	H15.7.15	開塁記念碑	鎌数 3817-3	旭	E-5
〃	47	〃	〃	H15.7.15	少名菅古大神の碑	口の 1381-1 西宮大神社	旭	F-5
〃	48	〃	〃	H17.2.18	倉橋稲荷社本殿	倉橋 2381 稲荷社	海上	E-9
〃	49	彫刻		S45.9.19	愛染明王像	野中 2042 長禅寺	旭	H-6
〃	50	〃	〃	S47.4.26	弥陀三尊及び宗休日像	萬歳 691 東福寺	干潟	B-6
〃	51	〃	〃	S47.4.26	木造伝辻内所部坐像	長部 345-2 大原幽学記念館	干潟	B-4
〃	52	〃	〃	S52.1.25	大日如来像	二の 2265 幸蔵寺	旭	G-5
〃	53	〃	〃	S53.4.1	阿弥陀如来の両脇侍立像	蛇園 612 還来寺	海上	F-8
〃	54	〃	〃	S56.11.13	懸仏	イの 2337 東栄寺	旭	F-6
〃	55	〃	〃	S56.11.13	狩財天	イの 2337 東栄寺	旭	F-6
〃	56	〃	〃	S56.11.13	汗かき地蔵	井戸野 1492	旭	G-3
〃	57	〃	〃	S59.3.23	内裏神社御神像	泉川 1502 内裏神社	旭	G-3
〃	58	〃	〃	H11.4.10	長禅寺本堂欄間彫刻	野中 2042 長禅寺	旭	H-6
〃	59	〃	〃	H11.12.16	木造聖沙門天立像	萩園 1141 密蔵院	飯岡	H-9
〃	60	〃	〃	H16.8.1	不動明王立像	野中 2042 長禅寺	旭	H-6
〃	61	〃	〃	H17.2.18	稲荷大神立像	倉橋 2381 稲荷社	海上	E-9
〃	62	〃	〃	H17.2.18	蔵王権現立像	倉橋 2381 稲荷社	海上	E-9
〃	63	〃	工芸品	S46.10.1	梵鐘	倉橋 1113 宝寿院	海上	F-9
〃	64	〃	〃	S56.11.13	五種鈴	二の 2265 幸蔵寺	旭	G-5
〃	65	〃	〃	H2.7.10	鐘木村古図及び訴状	長部 345-2 大原幽学記念館	干潟	B-4
〃	66	〃	〃	H14.6.25	16mm フィルム「千潟八万石」第壱号	高生 3610 環境小学校	海上	F-7
〃	67	〃	工芸技術	S50.11.18	神輿製作技法	清原地区(個人)	干潟	—
〃	68	民俗	無形民俗文化財	S52.4.12	熊野神社の女男石	清和乙 715 熊野神社	干潟	B-4
〃	69	〃	〃	S53.4.1	龍福寺算額	長部 345-2 大原幽学記念館	干潟	B-4
〃	70	〃	〃	H17.2.18	雷神社の力石	見広 1371 雷神社	海上	E-8
〃	71	無形民俗文化財		S50.11.18	熊野神社の妊娠祭	清和乙	干潟	B-4
〃	72	〃		S50.11.18	諸歳年の祭はやし	清和甲	干潟	—
〃	73	〃		S50.11.18	入野の祭はやし	入野	干潟	—
〃	74	〃		S50.11.18	南堀之内の祭はやし	南堀之内	干潟	C-4
〃	75	〃		S50.11.18	長部の祭はやし	長部	干潟	—
〃	76	〃		S50.11.18	米込の大名行列	米込	干潟	—
〃	77	〃		S50.11.18	新発田の大名行列(雷助)	萬力(新発田)	干潟	—
〃	78	〃		S50.11.18	熊野神社の神幸祭使者	清和乙	干潟	—
〃	79	〃		S53.1.12	萬歳の紙園大鼓	萬歳	干潟	B-6
〃	80	〃		S57.6.11	十五夜講	清滝橋下町	海上	—
〃	81	〃		H1.5.23	雷神社の御神幸	見広	海上	E-8
〃	82	〃		H2.11.1	河岸浦郷の祭はやし	鎌木	干潟	C-2
〃	83	〃		H2.11.1	須賀神社の祭はやし	鎌木	干潟	C-2
〃	84	〃		H3.3.27	須賀神社の御幸射祭	鎌木	干潟	C-2
〃	85	記念物	史跡	S46.10.1	見広城址	見広 570ほか	海上	E-8
〃	86	〃		S46.10.1	見広上人塚	見広 2005-2	海上	E-8
〃	87	〃		S46.10.1	蛭芝木(琵琶蛭)	大間手 1415-1	海上	E-8
〃	88	〃		S47.2.19	花咲安積の墓	萬歳 691 東福寺	干潟	B-6
〃	89	〃		S47.4.26	宮休屋	清原 795	干潟	B-5
〃	90	〃		S49.2.19	剣持喜行の墓	鎌木 908	干潟	C-1
〃	91	〃		S49.2.19	櫻井高札場	櫻井 533	干潟	B-6
〃	92	〃		S50.7.22	滝台古墳	鎌木 2627	干潟	C-2
〃	93	〃		S50.7.22	鎌木大神境内古墳	鎌木 2965-2	干潟	C-2
〃	94	〃		S50.7.22	法王塚	鎌木 2968-1	干潟	C-2
〃	95	〃		S50.7.22	村山法華塚	鎌木 3792-1	干潟	B-2
〃	96	〃		S50.7.22	泥内古墳	鎌木 2993	干潟	C-2
〃	97	〃		S50.7.22	御塚古墳	鎌木 636	干潟	C-1
〃	98	〃		S50.7.22	原畑古墳	鎌木 1536	干潟	C-2
〃	99	〃		S50.7.22	干場古墳	鎌木 3087	干潟	C-2
〃	100	〃		S50.7.22	長津念仏塚	鎌木 3735	干潟	C-2
〃	101	〃		S50.7.22	長照古墳	鎌木 2596-1	干潟	C-2
〃	102	〃		S52.1.25	木曽義昌公遺跡供養塔・水原跡石塔	イの 2337 東栄寺 イの 2805-1 木曽義昌公史跡公園	旭	F-6
〃	103	〃		S52.1.25	大塚原古墳	大塚原 1176	旭	H-3
〃	104	〃		S52.4.12	石毛新兵衛・石毛治兵衛の遺跡	清和甲 727 永命寺	干潟	C-4
〃	105	〃		S52.4.12	宮負定賢・宮負定雄の遺跡	清和乙 701ほか	干潟	B-4
〃	106	〃		S54.4.17	光明寺の板石塔婆	鎌木 1794 光明寺	干潟	C-2
〃	107	〃		S54.4.17	長泉寺の板石塔婆	鎌木 2013 長泉寺	干潟	C-2
〃	108	〃		S54.4.17	鵜勝寺の板石塔婆	鎌木 1902 鵜勝寺	干潟	C-2
〃	109	〃		S56.11.13	三元師の墓	鎌数 488-2	旭	E-5
〃	110	〃		H5.3.17	玉神神社の石塁(81 m)	飯岡 2126 玉神神社	飯岡	H-9
〃	111	天然記念物		S52.4.12	熊野神社の大杉	清和乙 715 熊野神社	干潟	B-4
〃	112	〃		S53.4.18	須賀神社の大蟻樫	鎌木 1343 須賀神社	干潟	C-2
〃	113	〃		S55.7.1	高峯廟普提樹	倉橋 2384 高峯廟跡	海上	E-9
〃	114	〃		S56.11.13	内裏神社の森	泉川 1502 内裏神社	旭	G-3
〃	115	〃		S56.11.13	ケブの木	仁玉 568	旭	G-4
〃	116	〃		H1.5.23	普門院のイヌ椿	蛇園 3604-1 普門院	海上	F-8
〃	117	〃		H1.5.23	天神様の森	倉橋 2585 天神社	海上	E-9
〃	118	〃		H1.5.23	松ヶ谷大宮大神社の椎根群	松ヶ谷 2105 大宮大神社	海上	D-8
〃	119	〃		H1.5.23	岩井大宮神社大椎	岩井 684 大宮神社	海上	D-8
〃	120	〃		H1.5.23	倉橋水神社の大杉	倉橋 1102 水神社	海上	F-9
〃	121	〃		H1.5.23	雷神社の森	見広 1371 雷神社	海上	E-8
〃	122	〃		H4.5.26	蛇園出清水の斜面樹生	蛇園 211ほか	海上	F-8
〃	123	〃		H5.3.17	天の石階 附 鐘石35個 附 石臼8	飯岡 2126 玉神神社	飯岡	H-9
〃	124	〃		H17.2.18	蛇園出清水のゲンジボタルの発生地	蛇園 211ほか	海上	F-8
〃	125	有形	工芸品	R6.8.16	清川慰助関係七宝資料	―――	海上	—



地名の由来

旭(Asahi)　明治22年町村制施行に伴い当時の網戸村・成田村・十日市場村・太田村が合併する際、新しい町名について審議したところ名案がなく、初代町長江波戸三郎右衛門氏による「昔、網戸城があって城主として朝日将軍木曽義仲の子孫木曽義昌がいたので、旭町としたらどうだろう」との提案に、満場一致で決定したそうです。なお、文字の「旭」については、京都の国学者である野々口隆正が、嘉永5年(1852)義昌の旧跡を訪ねて網戸の東漸寺に訪れた時に詠んだ歌「信濃よりいづる旭をしたい来て東のくにに訪とどめけむ」の「旭」をとったもの、又は町の将来「旭日昇天」の発展を祈った意味ともいわれています。
(昭和49年7月1日号「広報あさひ」による)

海上(Unakami)　銚子半島は、下総国の東端を占め、利根川の河口でもあり、千島海流と日本海流が南北から押し寄せ、一つに満ま(海)上に突き出ている半島です。古くから海上(うなかみ)といわれる地方で、『和名抄』(平安時代の辞書)に、下総国十一郡の一つとして「宇奈加美」と訓じています。海中に突出した地勢が馬のたてがみに似ているので「項髪」といわれた説もあります。(海上町史による)

飯岡(Iioka)　「イヲ」は魚、「カ」は場所を意味する古語であると辞書に出ています。この地域の発音は「イヲ」は「ヨウ」、また濁音を多く使うので「カ」は「ガ」になる。銚子の魚屋さんが使う「ヨーガ」が飯岡の地名の由来で、イイオカは地名を「飯岡」と文字に書くようになってからの呼び名と思われます。(飯岡町史による)

干潟(Hikata)　古来「干潟八万石」といわれていた耕地は、この地域の住民経済の基礎となって、そこに住む人々の生活と深く結びついていることから、古城、中和ならびに萬歳の三村を合併して「干潟町」と名づけられました。(干潟町史による)

九十九里浜(Kujukuri Beach)　北は旭市の刑部岬から南はいすみ市の大東崎に至る、約66kmの弓なりの砂浜海岸です。地名の由来は諸説ありますが、源頼朝が1里ごとに矢を立てたところ99本に達したことから九十九里浜と呼ぶようになったのが有力説です。
(角川日本地名辞典による)　※当時の長さの目安　1里≒6町　1町≒109m

千葉県八千代市緑が丘西2-7-1-12-603　株式会社 武揚堂 千葉営業所　調製　〒276-0042　☎ 047(409)1941